

県オリジナル水稲新品種「岩手 141 号」の名称について

今年から本格生産・販売を開始する、県北地域向け水稲新品種「岩手 141 号」の名称を決定しましたので発表します。

1 「岩手 141 号」の名称

名称については、達増知事から発表します。
記者会見終了後、改めて資料を配付します。

2 名称の決定方法

地域に愛される品種を目指し、主な産地となる久慈、二戸、八幡平の各農業改良普及センター管内の生産者、関係機関・団体等から名称案を募集。

応募のあった191点の名称案を基に、県と関係機関からなる選考委員会での選考を経て決定。

【担当】

名称、販売に関すること：流通課 流通企画・県産米課長 菅原（電話 019-629-5731）

品種、生産に関すること：農産園芸課 水田農業課長 吉田（電話 019-629-5705）

【参考】「岩手 141 号」について

1 開発経緯

県北地域の気象条件に適し、「銀河のしずく」ゆずりの外観を持ち、「いわてっこ」より収量面で優れる良食味品種として、県農業研究センターが開発。

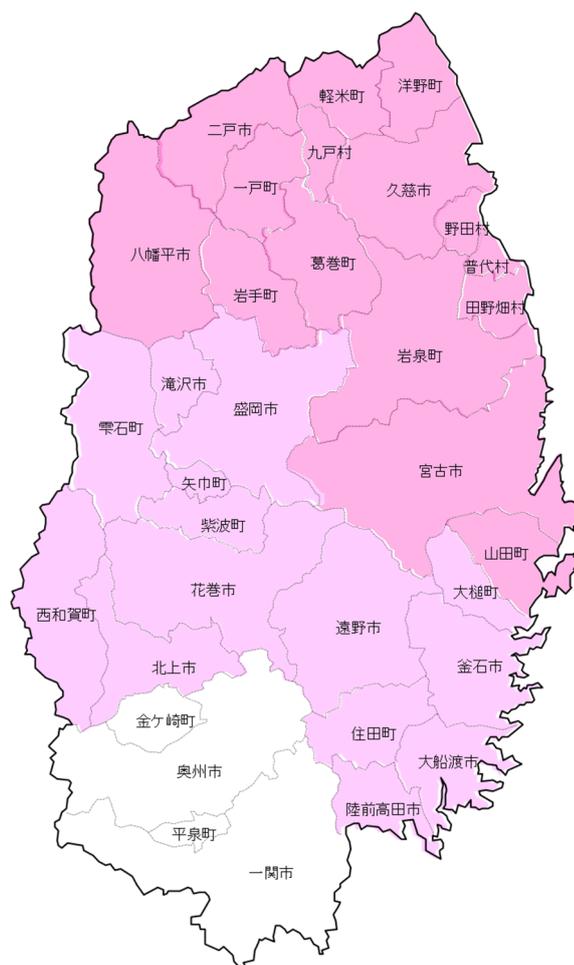
2 栽培適地（右図を参照）

(1) 右図  の市町村

宮古市、久慈市、二戸市、八幡平市、葛巻町、
岩手町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、
軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町

(2) 右図  の市町のうち、
標高 240m以上の地域

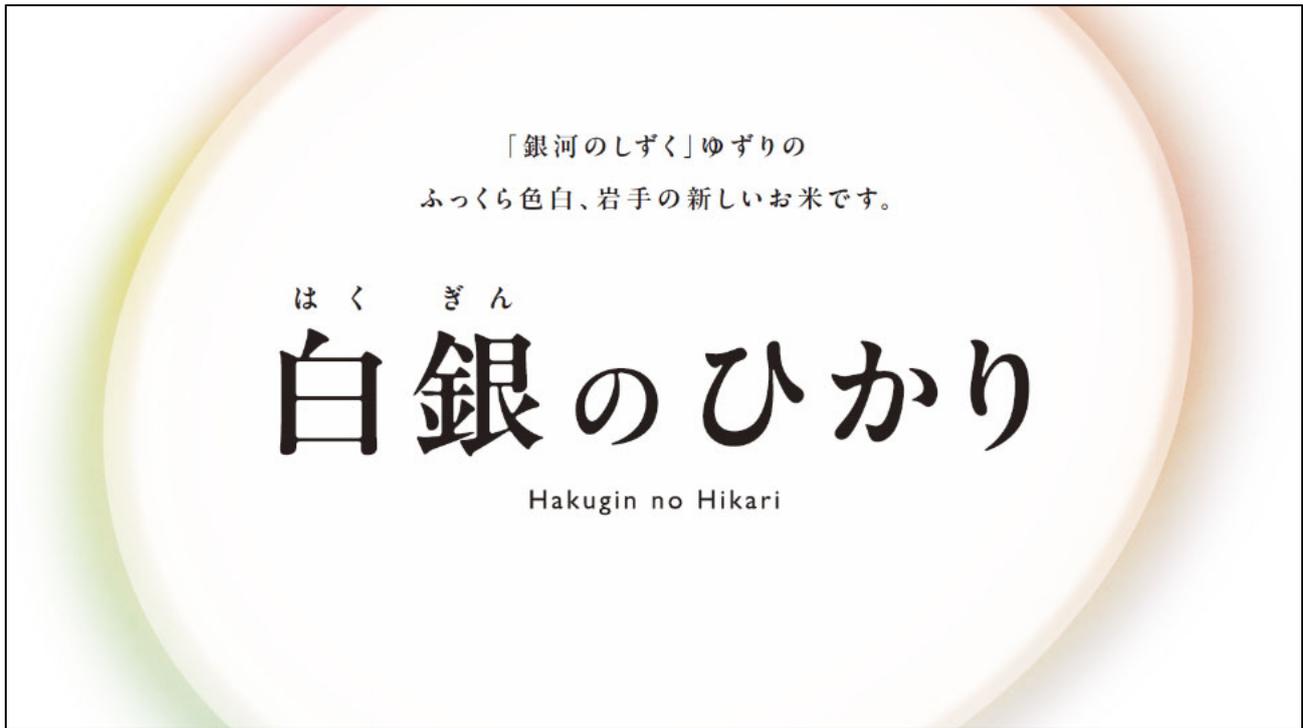
盛岡市、大船渡市、花巻市、北上市、遠野市、
陸前高田市、釜石市、滝沢市、雫石町、紫波町、
矢巾町、西和賀町、住田町、大槌町



県オリジナル水稲新品種「白銀のひかり」の名称について

今年から本格生産・販売を開始する、県北地域向け水稲新品種「岩手141号」の名称を「白銀のひかり」に決定しましたので発表します。

1 「岩手141号」の名称



2 名称決定理由

「銀河のしずく」ゆずりの粒の白さを「白銀」で表し、
本県の稲作を照らす希望の「ひかり」になってほしいとの思いを込めました。

【担当】

名称、販売に関すること：流通課 流通企画・県産米課長 菅原（電話 019-629-5731）

品種、生産に関すること：農産園芸課 水田農業課長 吉田（電話 019-629-5705）